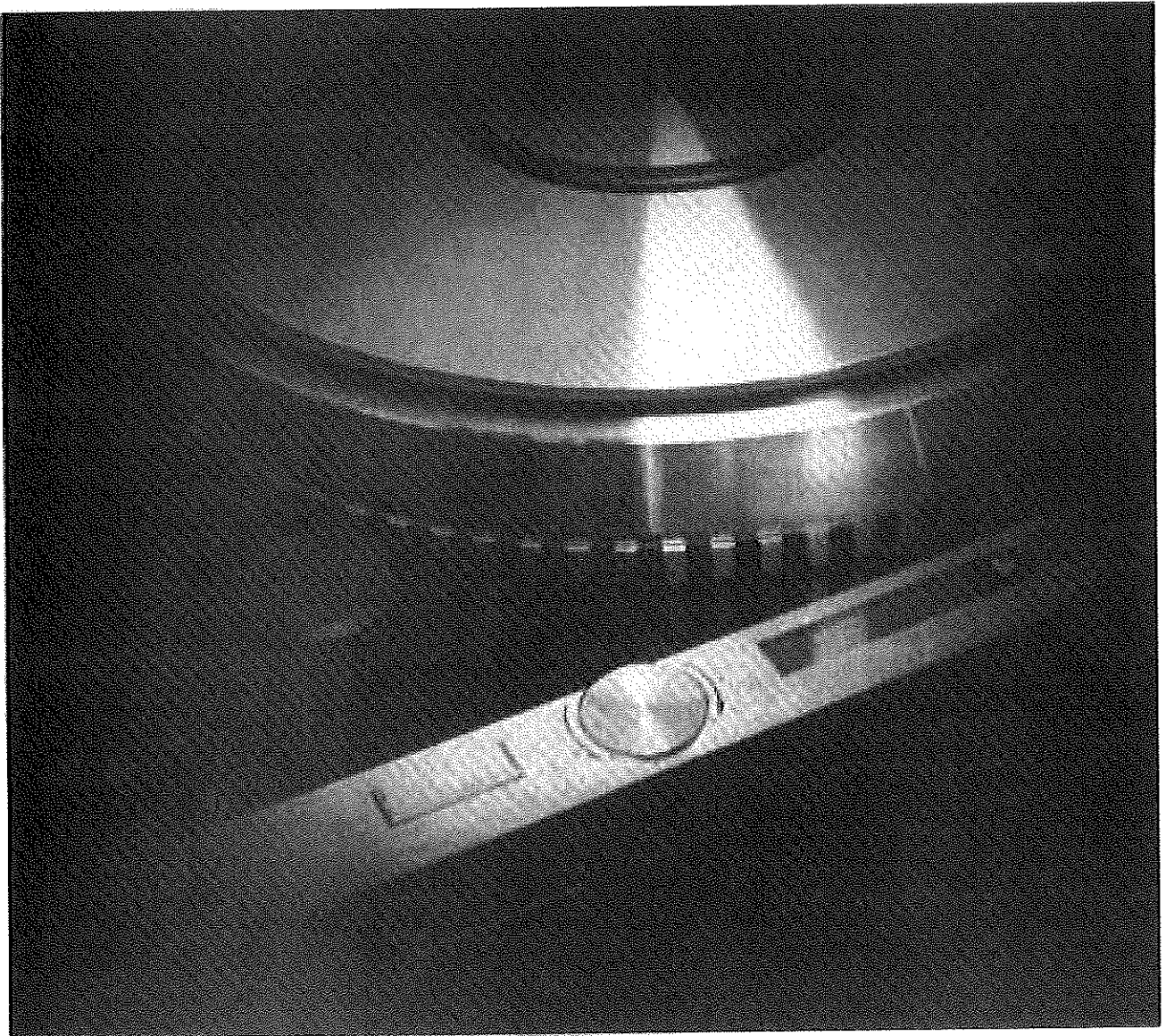


# SX-777AV

取扱説明書



**MICRO**

この度は、マイクロSX-777FVをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。  
 本機の性能を十分に発揮させてご利用いただく為ご使用の前にこの取扱説明書を最後まで  
 お読みの上、正しい使い方でお楽しみください。

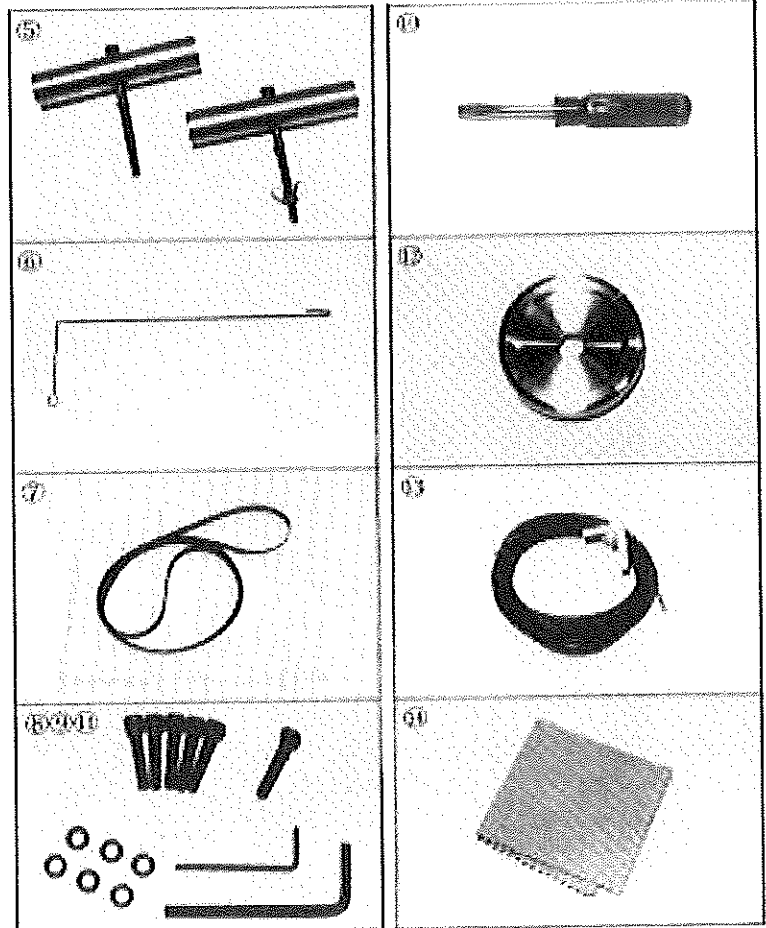
■本機の特長

振動伝達系を同化した「ダイレクトカップリング」と「下V方式」  
 と、異質な素材で構成。さらに、電機周波数よりも正確なクイ  
 ーズ発振のストロロシ、あらゆる振動をシャットアウトするク  
 アドロブレックスリスペンションを採用しています。ターンテーブル  
 には、すでに音のよさが実証される磁気を使用すると共に、  
 超精密加工によって極めて良好なダイナミックバランスを実現  
 しました。しかも、電機周波数よりも正確なクイーズ発振のスト  
 ロロシを搭載、完璧なまでのスピード調整が可能です。さらに  
 シャットアッソリンプリーとアームマウントを大型の金属フレ  
 ード一体化したダイレクトカップリングを採用、有害な振動スピード

の位相ズレやエネルギーの「喪失」を産み出さず、また、  
 空気、オイル、ゴム、スプリングの1つを巧みに組合せ、上下、  
 左右、前後のあらゆる振動をシャットアウトするクアドロブレ  
 ックスリスペンションを装備しています。マイクロ独自の技術を  
 積極的に投入したプレーヤーシステムです。

■付属品

- ① ケースカバー(別梱包) 1
- ② ターンテーブル(別梱包) 1
- ③ マウントベース(別梱包) 1
- ④ エアホジックRP-1110(別梱包) 1
- ⑤ ハンドル 2
- ⑥ ペットボトル金具 1
- ⑦ SFペダル(SF-2) 1
- ⑧ 六角レンチ(大) 1
- ⑨ 六角レンチ(小) 1
- ⑩ 三脚ライナー 1
- ⑪ マウントベース取付ビス  
 M5×25 0  
 中硬金 0
- ⑫ Eコード用アダプター 1
- ⑬ アースコード 1
- ⑭ ポリリングクロス 1
- ⑮ 取扱説明書 1
- ⑯ 愛用者カード 1



■各部の名称

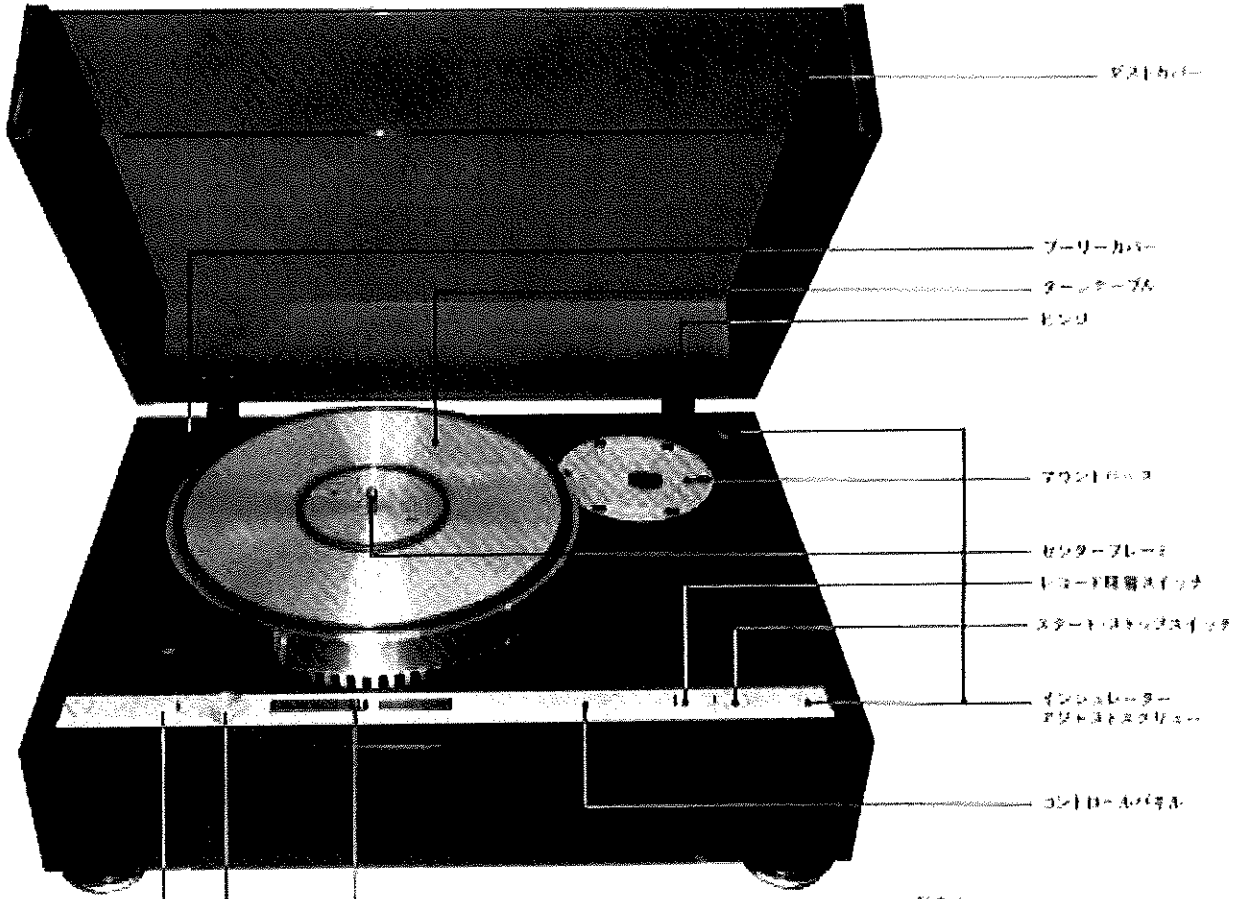


写真1

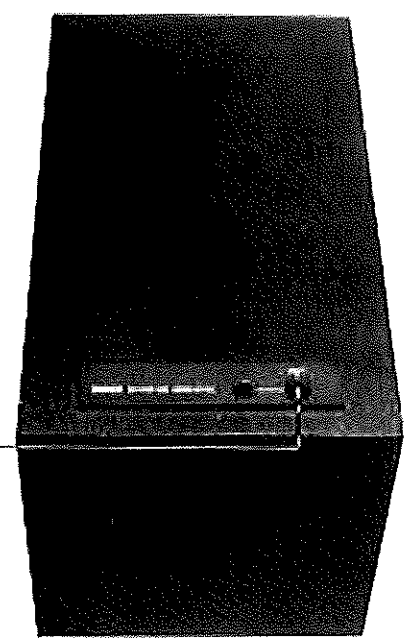
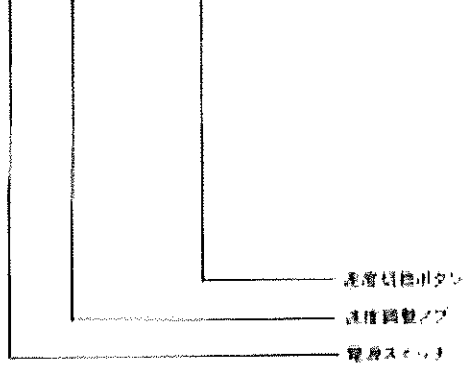


写真2 (1110)

■ターンテーブルの組立

- 付属のハンドルを使って、ターンテーブルを箱から取り出します。
- ハンドルの耳留をはずし、ボルトが目金具をハンドルについている埋込穴にて貫通して取り付きます。(写真2)

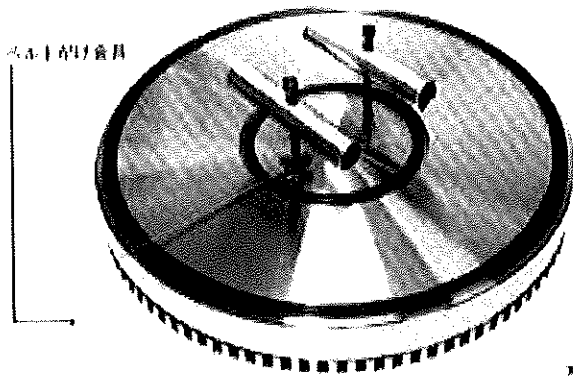


写真2

- ターンテーブルをそのまま立てて置き、付属のSPボルトをターンテーブル及びボルトが目金具にセットします。(写真3)

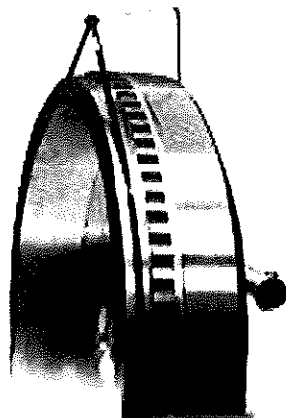


写真3

- SPボルトには裏表がありますので、ご注意ください。



●裏面にA、Bの符号が記載されています。正しく裏面にAの符号が向き合うように取り付けます。



●裏面にC、Dの符号が記載されています。正しく裏面にCの符号が向き合うように取り付けます。

- プーリーカバーをはずし、固定ボルト本を挿入、プーリースライドノブを動かして、プーリーが最も内側の位置になっていることを確認します。(写真4)
- SPボルトをセットした状態のターンテーブルを本体のセンターシャフト部に搭載します。(搭載の前に、本体のガラス面とターンテーブルの内面にゴミ、ホコリが付着していないを確認し、もし付いていたら付属のポリッシュクロスで拭き取ってください。)

- SPボルトをプーリーにかかけ、スライドノブをまわしてプーリーを外側に移動させてから固定ボルトを要締めして下さい。(写真4)

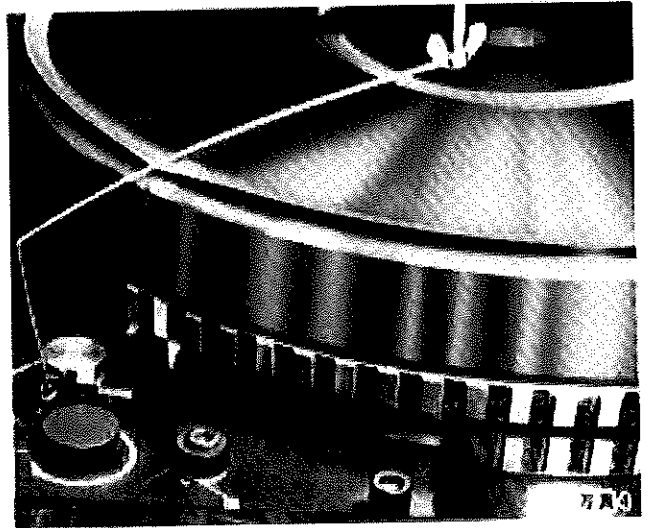


写真4

- ターンテーブルからハンドル及びボルトが目金具をとりはずします。
- 一本のハンドルをセンターシャフトにおっこみ、上方に引き上げり上げてターンテーブルとセンターシャフトのギヤを合わせます。(図1)
- ハンドルをはずし、かみり、センターボルトを、付属の六角レンチ(小)を使ってしっかりと締付けます。(図2)

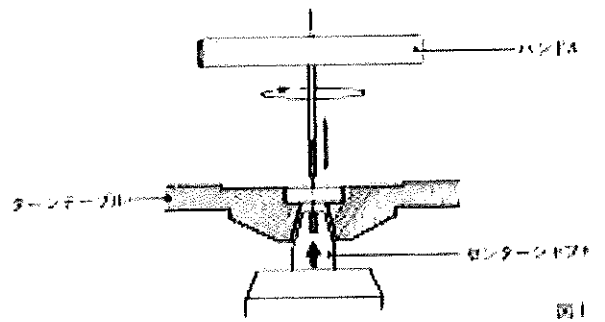


図1

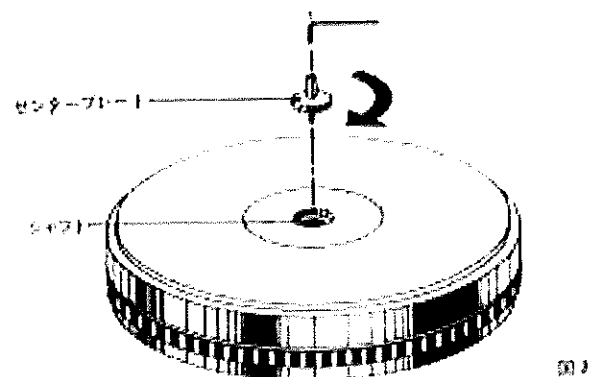


図2

■トーンアームの取付け方法

●マウントベースの選択(A-1200シリーズ)

使用のアームに応じてマウントベースを決定します。表に記載されていないトーンアームについては加工を必要とします。マウントベースは1ヶ付属していますが、2ヶ目からは別売となります。

●各種トーンアームが取付け可能なマウントベースが別売されております。

マウントベース

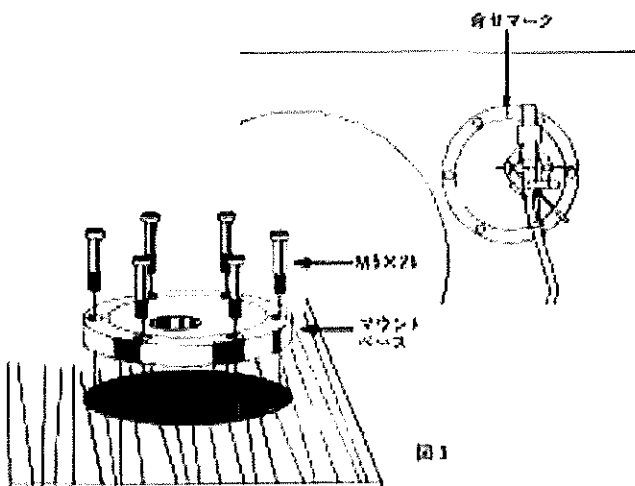
取付け可能なトーンアーム

- A-1201 MICRO/MA-505・505X・505S・707X  
AUDIO CRAFT/AC-300MKII  
SAEC/AVE-407/23
- A-1202 SAEC/AVE-308・308N・308SX・317
- A-1203 FR/FR-04・04S・04FX・14
- A-1204 FR/FR-24MKII・54  
DENON/DA-300・305・307・309・401  
VICTOR/VA-50M5
- A-1205 MICRO/MA-505XII・505SII・505MKIII・808X  
AUDIO CRAFT/AC-300MC
- A-1206 SME/3000/SII・3000/SIII・3010R
- A-1207 MICRO/MAX-337

(1と2目目のアームはマウントの取付け加工が必要です。)

●マウントベースの取付

マウントベースは、合せマークが真横にいくような向きにして、取付けることにより、自動的にトーンアームの取付位置が決まる構造となっています。トーンアームをマウントベースに確実に固定してから、付属のビス(M5×25)を使ってマウントベースをキャビネットに固定して下さい。



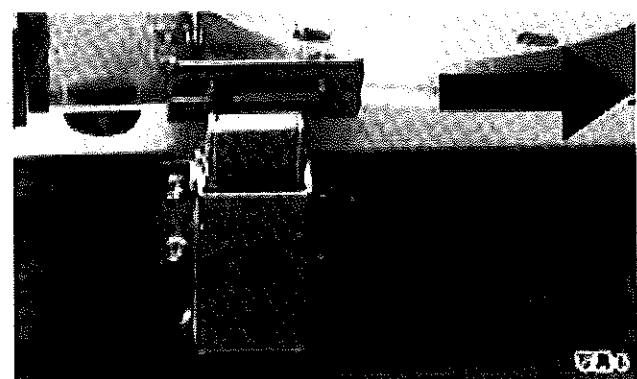
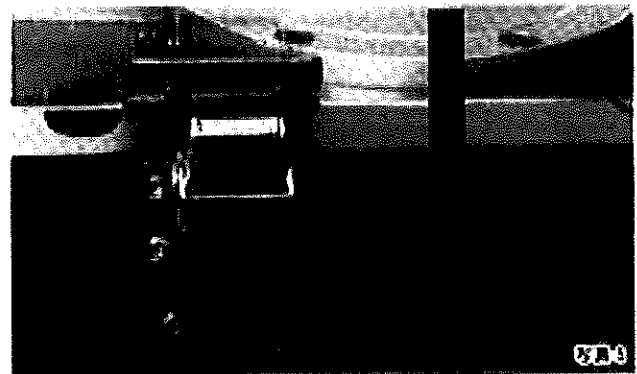
●アームレストの取付

アームレストがトーンアーム本体を充分離れた位置(アームレストを使用する場合は、別売アームレストFR-50V2,600)を使用すればベースに穴明け加工をせずに簡単にアームレストを取付けることができます。

■ダストカバーの取付け

●ダストカバーの取付け

矢印①のように、ダストカバーのジョイントをレジン塗面に押し込みます。左右が入ったことを確認してから、矢印②の方向へ止まるまで動かして下さい。これで固定されます。



■エアポンプの接続

- エアポンプの電源コードはプレーヤー後面のACアウトレットに接続します。(これでエアポンプのON/オフはプレーヤーのPOWERスイッチで操作します)
- 付属のリコンネクター3本で、エアポンプとプレーヤーをA、B、Cの表示に従って接続します。
- エアポンプの底面の輸送ベルト(赤ネジ)を取り外して下さい。

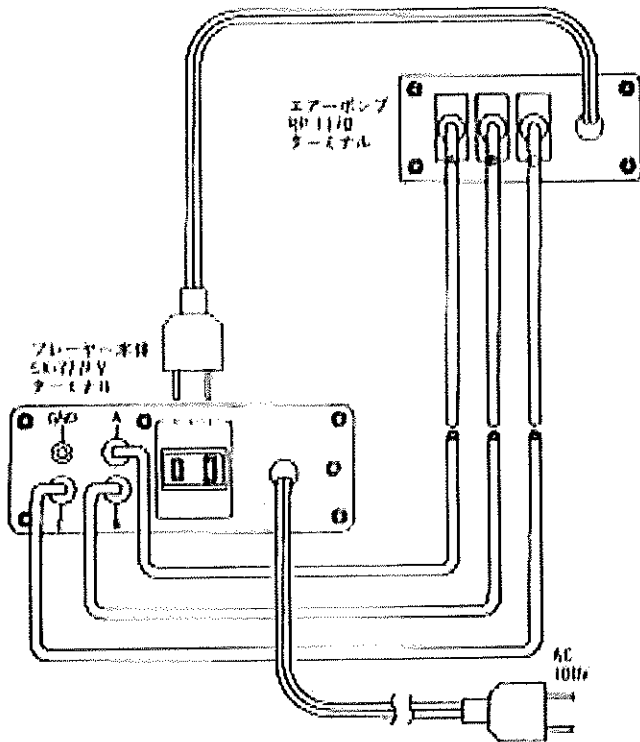


図4

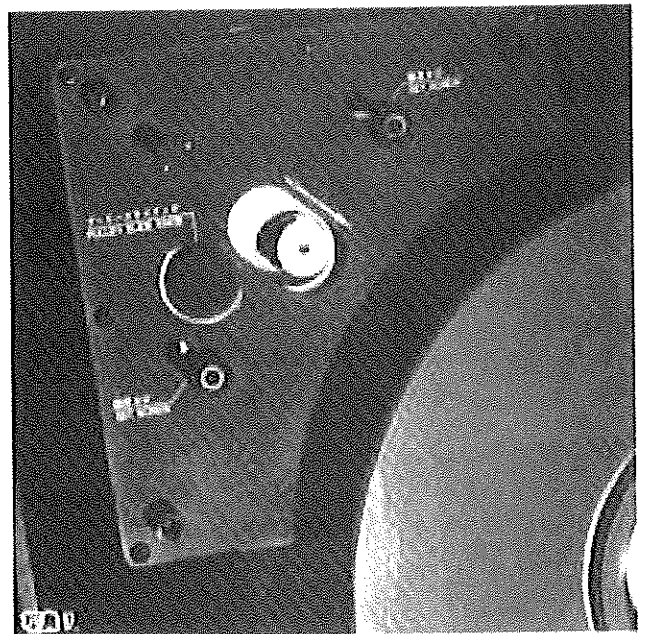
■アース線の取付

GND端子に付属のアース線を取り付け、他端をアンプのGND端子に接続します。

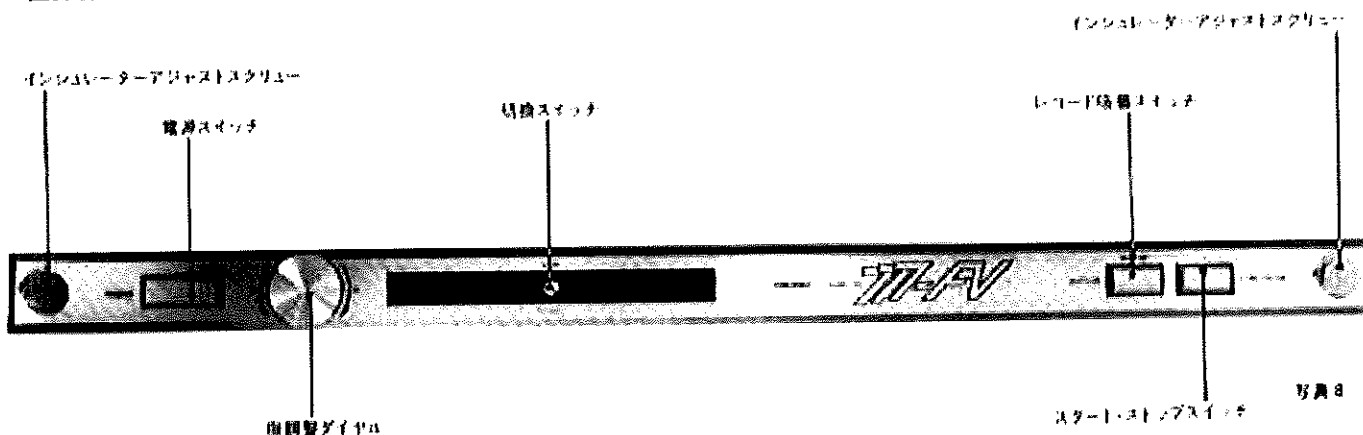
- ターンテーブルの浮上確認
- POWERスイッチをONにすると、エアポンプが作動し、ターンテーブルは約30mm浮上します。手で静かにまわして浮上具合を確認して下さい。(ターンテーブルが完全に浮上しない状態の時に、無理な回転をさせるとフレーム内部のガラス面にキズがつく恐れがありますのでご注意ください。浮上した状態ではごく軽く手を離れただけでスムーズに回転するはずです)

■SFベルトのテンション調整

- フリースライダフックをまわして、フリーを移動させ、SFベルトのテンションを調整を行います。
- ベルトのテンションによって、ターンテーブルの立ち上がり時間(スタートの状態から、1回転の定常回転に達するまでの時間)が変化します。このプレーヤーの場合、立ち上り時間が7秒になる、最適なテンションに調整して下さい。
- テンション調整が完了したら、固定ネジを2本共にしっかり締め付けて固定します。
- ベルト、フリー、ターンテーブルのベアリング軸面に油やワaxesが付着しますと、特許および音質の劣化の原因となりますので、ご注意ください。
- 汚れた場合はフリー、ベルトをアルコールを含ませた布で軽く拭き取って下さい。但し、鈷を製ターンテーブルには、アルコール等の溶剤は絶対に使わないで下さい。乾いた布で拭き取らなければなりません。



## ■操作方法



### ●電源スイッチ：

ボタンをおすと本体とエア・ポンプの電源が入り、ターンテーブルが浮上します。当スイッチをONにする時は、必ず、ターンテーブルの回転を止めてからにしてください。又ONにする時はスタート・ストップスイッチがスタート状態になっていない事を確認してください。

### ●速度切換スイッチ：

ボタンをおすごとに速度が切り替わりますので、レコード盤に忠実に回転数を選んでください。

### ●速度微調整ダイヤル：

ターンテーブル外周部のスタートストップ溝により速度の調整を行います。規定回転数に対して±6%（半音階ビッチ）の範囲で調整が可能です。

### ●レコード吸着スイッチ：

ボタンが上になった状態では、吸着OFF（エア・逆噴射状態）、ボタンを押し下げると吸着ONとなります。

レコード後、ターンテーブル面は十分に清潔に保ち、特にレコード演奏前には、吸着面を必ずクリーニングするように努めてください。又、ターンテーブルのシール目が汚れると吸着しにくくなりますので、水を含ませた柔らかい布等で時々清掃してください。

### ●スタート・ストップスイッチ：

モーターの回転、停止をコントロールするスイッチです。（尚、ストップしてモーターは停止して居る、ターンテーブルは慣性によりしばらく回転をつづけます。）

## ■インシュレーター調整

インシュレーターは、モーター取付部の一枚をのぞき、高低調整が可能です。トーンアーム、マウントベース等をすべて取り付けたから、3ヶ所のインシュレーターの上部アジャストスクリューを回して、プレーヤー全体の水平・バランスを調整します。

尚、アジャストスクリュー3ヶ所には、キリップが取り付いてありますので、抜き取ってから調整し、調整後再度、キリップを差し込んでください。

（インシュレーター高さ調整はから見て）



## ■取扱上の注意と手入れ

### ●センターシャフト：

SX 777FVに使用のセンターシャフトは独自のオイルガス方式による耐荷重、経年変化を考慮した構造となっています。したがって半永久的にオイル、軸受の交換を必要としないスイッチメカニクスフリータイプです。センターシャフトの耐久性につきましては、保証するとともに、通常の使用状態でも不具合が生じた場合には無償にて交換いたします。センターシャフトは絶対に取りはずさないでください。取りはずすとレコードの取付となります。

### ●モーター：

SX 777FVのモーターは特殊オイルの使用により注油の必要はありません。もし他のオイルを注油されると故障の原因となります。（尚、モーターに異常が認められた場合は、当社サービスまでご連絡ください。）

### ●ターンテーブル：

ターンテーブルは複合材を使用していますので、表面に結晶状様が浮き上がって見える場合があります。これは仕上り不良ではありません。

又、汚れを防止するためクリアー塗装を行っておりますので、アルコール、シンナー等の薬品では絶対拭かないよう注意してください。指紋、汚れ等を生む場合には水がけし布で拭き、又は水に濡らした布を軽くしぼってお使いください。

■プレーヤーの設置

●プレーヤーをアンプの近くや、トランスを使用している機器の近くにて設置します。漏洩磁束(フラックス)の影響を受け、ハムが発生することがあります。MCカートリッジはフラックスの影響を受けやすいためアンプ類からできるだけ遠くにて設置して下さい。

●プレーヤーが振動を受けると再生音の劣化をおこします。できるだけ丈夫な台に設置して下さい。ガラス板、大理石等を利用すると音質の向上が得られます。又、ハウリングの防止のため、スピーカーの正面(音波を直接受ける位置)や、スピーカーの上部(厚等からできるだけ距離して下さい)。

■SFベルト

交換用SFベルトは販売店にてSF-2(¥3,000)にご指定下さい。

■エアポンプの設置

エアポンプユニットは圧縮空気を発生させるため、振動源になっていますが、防振、防音対策には最善を尽した設計になっています。

わずかな音ですが、エアポンプの音が気になる場合は、特取場所及びプレーヤー本体からなるべく離してご使用下さい。

■規格

●SM-77FF-V

- 駆動方式..... SFベルトドライブ方式
- モーター..... 8極24スロットIXCブラクレスFGサーボモーター
- 回転数..... 33 $\frac{1}{3}$ 、45rpm 2スピード
- 速度微調整範囲..... 1.6%
- ターンテーブル..... 直径310mm、鋳金製、重量13kg
- 慣性モーメント..... 2ton $\cdot$ cm
- 電圧..... AC100V(50/60Hz)
- 消費電力..... 13.5W
- 外形寸法..... 532(W) $\times$ 440(D) $\times$ 230(H)mm
- 重量..... 46kg
- マウントベース..... A-1200シリーズ1個付属

●SP-1110(付属エアポンプユニット)

- 電圧..... AC100V(50/60Hz)
- 消費電力..... 10W
- 外形寸法..... 200(W) $\times$ 369(D) $\times$ 217(H)mm
- 重量..... 6.3kg

【悪い設置の例】

